

## 「地方の社会資本整備PT」ワーキンググループの設置について（案）

### 1 ワーキンググループ（WG）での検討課題

（1）事業の必要性・優先度を評価・判断する仕組み

#### 「事業評価手法WG」

##### [主要論点]

- ・追加的な便益（防災、医療等）と算定式
- ・評価プロセス、組織のあり方（地方の意見反映等）
- ・数値化できない便益の評価への反映

（2）既存施設の有効活用やコスト縮減の観点も踏まえた整備手法

#### 「コスト縮減WG」

##### [主要論点]

- ・道路/河川事業における整備コストの縮減手法
- ・災害復旧事業における「予防」のあり方（復旧から予防へ）
- ・VE（バリュー・エンジニアリング）の活用

### 2 WGメンバー

事前に各県へ参加希望を照会

県	事業評価手法WG	コスト縮減WG
山形県		
宮城県		-
群馬県		-
山梨県		
福井県		
滋賀県		
和歌山県		
兵庫県		-
島根県		
徳島県		
大分県		
宮崎県		-
計	12	8

：リーダー                   ：メンバー

メンバーは、検討課題の実務に精通している「課長級職員」を原則  
両方のWGへの参加も可

### 3 WGの運営

#### 活動目標

- ・H22.2 「中間報告」（各WG PT）
- ・H22.4 「提言書」決定（各WG報告等に基づき事務局で調整）

H22年3～4月に国の動向も踏まえたWGの結論を出し、「提言書」として取りまとめ  
のうえ4月に国へ提言

WGの開催は、上記「活動目標」を勘案のうえWGリーダーが決定し、メンバーを  
召集するものとする。

WGの運営方法は、WGリーダーが決定するものとする。